

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	音楽Ⅱ	2	2年1組

1 使用教材

使用教科書	MOUSA 2
出版社	教育芸術社
副教材等	
出版社	-

2 学習の目標

1	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
2	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
3	主体的に・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、捜索で表している。
② 思考・判断・表現	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現糸をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	C	B	A	授業中の活動への積極的な参加・教師の発問に対する応答・授業への出席状況
個別課題の達成状況	A	A	B	課題へ取り組む姿勢や達成度
グループ活動	B	A	A	グループ活動への積極的な参加
作品の完成度	A	A	C	作品の完成度

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	歌唱（1） 器楽（2） 楽典	三部合唱に取り組み、発声の基礎を学ぶ 楽器の基本的な奏法を学び、課題曲を仕上げる 楽譜の読み書きや表現に生かせる力を身に付ける
2 学 期	地域の郷土芸能 日本の伝統芸能 世界の伝統芸能 歌唱（2） 器楽（2）	地域の郷土芸能について学ぶ 地域で実践する 日本の伝統芸能について学ぶ 世界の伝統芸能について学ぶ 様々なジャンルの曲を歌唱する 楽器の基本的な奏法を学び、課題曲を仕上げる
3 学 期	演奏会に向けて	課題研究 地域で実践する